

MJ 進路通信

群馬県立前橋女子高等学校
進路指導部
令和4年8月29日(月) 復刻版2

《この通信は2年前に特集した「二学期の過ごし方、勉強方法」をまとめた“復刻版”です。ホームページのみの掲載となります。寄稿してくれたOGの大学での学年は2年前のものとなります。》

2年生へ贈ります

2年後半、どんな意識で、何を、どうするか

大学入試の成功は、やはり「2年生までどの段階まで行っているか（知識がどこまで積み重ねられているか）」にかかっている。

受験勉強にフライングはない。模試の結果が返ってきたタイミング、この進路通信に目を通したタイミング、その一瞬のタイミングを捉えて、自分の進路実現への力に変えるんだ。2年の後半、もっと言うと早い時期から始められることは、大きな大きなアドバンテージだ。同じような潜在能力を持ち、同じ環境で3年間を過ごしたあなたたちの先輩からのアドバイスです。



①Aさん（東京外国語大学言語文化学部 1年）

受験生としてのスタートを早く切るとは、志望校合格に向けてやっぱり大切なことだと思います。私も「2年生のうちに受験に向けてのスタートを切りたい!」という意識を持っていました。そうは言っても急に意識を変えるのはなかなか難しいし、スタートを切るタイミングも個人個人違うので、今無駄に焦ったり不安になる必要はないかなと思います。私個人的には部活の区切り（2年の終わり）がたった瞬間から勉強に全力で取り組めるように、この時期からだんだん勉強時間を増やしていくと決めていました。私は友達が自習室で勉強している姿を見たり、先生方から進路の話聞くたびに自分も負けずにもっと頑張りたい!という思いが出てきて、朝早く登校して勉強したり、友達と一緒に昼休みに教室を離れて勉強したりするようになりました。部活で疲れていても、なるべく塾に行って遅くまで自習することもこの時期からだんだん増えてきたかなと思います。

その時勉強していた内容は、授業の予習復習や学校の定期テストに向けての課題だったり、模試の復習で、これといって特別な勉強はしていませんでした。3年生に上がる前に苦手を溜めないように、2年までの範囲にしっかり取り組むことが大切だと思います!

また志望校が決まると、合格に向けて逆算して個人個人の今すべき勉強が分かってくると思います。私は2年のこの時期志望校に関して悩んでいましたが、まだ進路が決まっていなくても、後で自分が困らないように一生懸命勉強に取り組むつつ、たくさん考えて

進みたい方向を決めて行けたら良いんじゃないかなと思います。

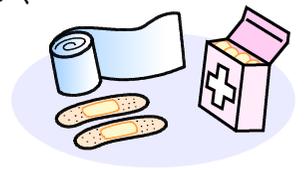
大変な時期ですが、前女生の皆さんが貴重な高校生活を悔いなく過ごせたら嬉しいです。応援しています!

②Bさん（東京医科歯科大学医学部医学科 1年）

2年の後半は、「メジアン」を完璧に仕上げることに、数Ⅲの予習を終わらせること、3年生になったら理科の負担が重くなり文系科目に手が回らなくなると聞いていたので、センター国語の不安をなくすことを目標にしました。

「メジアン」は配られてから春休みになるまでに全ての問題を2周して、間違えた問題は自力で解けるまでさらに何度も繰り返しました。また、どういうところに気づけなかったから解けなかったのかを考えるようにしていました。

数Ⅲは学校の進度よりもだいぶ早く塾で予習をしていたのですが、理解に時間がかかるので、早めに手をつけておいて良かったです。



センターの国語に関しては1年生の「チャレンジ・センター」時に7割しか取れてなかったけれど本番では最低でも8割取りたかったので、電車の中で古文単語の単語帳を読んだり、国語にそんなに時間を割けた訳ではなかったのですが、隙間時間を工夫して使っていました。

高2の時は勉強時間の半分以上が苦手な数学でした。理科は習ったことを忘れてしまわない程度にした感じで、「重要問題集」や「名門の森」も、本腰を入れて取り組み始めたのは高3になる前の春休みからです。ただ、3年生の時に時間がなくて焦ったので、もう少し早めに理科に手をつけておけば良かったかなと思っています。

地理はテスト勉強と模試の復習だけしっかりしていました。

英語は夏までにある程度完成させていたので、そこまで時間を割きませんでした。冬休みに「やっておきたい英語長文 1000」に取り組み、志望校の傾向に似た超長文の問題に慣れるようにしました。あとは、単語帳「Duo」を徹底的にやっていました。

2年のこの時期が人生のターニングポイントになったという2人の先輩の話を紹介します。「今からやって合格しますか?」と聞いてくる生徒がいますが、その質問の根本には、踏ん切りがつかない自分、腹をくくっていない自分、自信がない自分がいるのだと思います。「とにかくやる」のです。合格に近づく学力を一つでも多く身につけるんです。「今から始めるより、受験勉強を先送りした方が合格から遠のく」くらいわかるよね。だから、今からやればいいのです。



③Cさん（慶應義塾大学文学部 1年）

まだ2年生の夏、ましてや例年通りの授

業が行えなかった状況で合格への道を想像し、勉強に励むことができない人がいるのも当然だと思います。

しかし、そのような状況下にいる皆さんへ、前女のいち卒業生として言えることは、「志望校に合格したことこそが、私の人生におけるターニングポイントであった」ということです。恥ずかしい話をするようではありますが、私は1年2年と勉強を怠り、平気で300番台（学年定員320名）をとってしまうような生徒でした。みなさんと同じように、もしかするとそれ以上に将来のビジョンを描けず、一日一日を怠惰に過ごしていました。しかし、2年の秋冬の時期に「自分を変えているんなことを経験してみたい」と思うようになり、受験勉強を始めました。

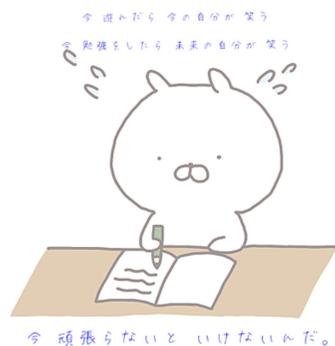
当初から早慶志望でしたが、成績が悪く2年の秋～冬から受験勉強を始めた私は、周囲から見ると、合格には間に合わない生徒でした。しかし、受験ではやるべきことは決まっているため、それをいかに効率よく吸収できるかが重要であると信じ、1年半受験に向けての準備をしました。

人それぞれ自分にあった勉強法は違うと思いますが、参考までに私の勉強法を紹介します。

英語は、単語に『鉄壁』、文法、語法に『頻出問題1000』を1年間使い続けました。また、口頭で日本語を見たら英語に訳せるようする方法で、単語、熟語、文法、語法の強化をしました。「長文は毎日読む」と決め、とにかく英語になれるようにしました。早慶の問題を本格的に始めたのは3年の10月末で、「量」を意識しました。

国語についてですが、私は元々国語が得意ではなかったのですが、単語などの基礎知識と学校で配られるテキストや塾のテキストの往復をしました。そして、英語より少し遅れて11月中旬頃に早稲田の問題に本格的に取り組みました。また、センター後から慶応の小論文にも取り組み始めました。

世界史についてです。世界史はとにかく授業のテキストを覚えることに限ると思います。授業でやったページをそのまま暗記して、一つ一つの文だけでなく、何がどこに書いてあるのかまで覚え、一問一答に使える細かい知識や用語、論述に応用できる因果関係を覚えました。早・慶に行く決めてからは、考査はトップを狙って勉強しました。



最後に、私文に決めたあるいは考えている人へ、私が私文に決めた理由の一つに確かに数学が嫌いだからというものがありました。これは私文に決める多くの人の主な理由であると思います。しかし、私が私文に決めた決定的な理由は、ネームバリュー、施設の綺麗さすべてひっくるめて「せっかくの大学生活を送るんだったら、ここがいい！」という自分の気持ちでした。教科の不得意は直接的に受験に関わってくるものですから無視はできませんが、自分が心惹かれる大学を目指してほしいです。

目指したからには、たとえ3教科であっても努力が必要です。実際に早・慶を目指している人には、浪人生はザラにいると言っても過言ではありません。修学旅行が終わり、**2学**

年が受験モードに入ったとき波に乗って合格するのか、後回しにして辛い選択をするのかどちらかの未来があることを念頭に置いてください。受験には辛い苦しいイメージがつきもので、勉強に飽きたりして「集中しなければいけないのに」という葛藤があるのも事実ですが、今振り返って見ると、自分と向き合え、友達と励まし合い、受験のノウハウをたくさん持っていて、とことんつきあってくれる前女の先生方の下で勉強できた充実した受験期でした。長い一生のうち1,2年しかない大学受験勉強で皆さんが自分自身の成長と将来への大きな一歩を果たせるよう応援しています。

④Dさん（東京大学文科Ⅲ類 1年）

私からは、高2のこの時期に意識してほしいことを2つお伝えします。

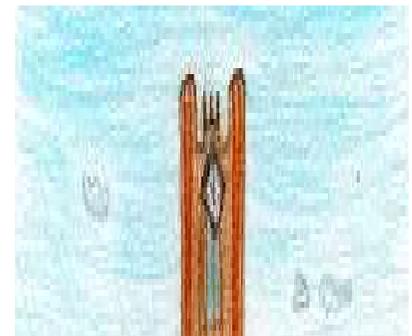
1. 志望校を決める

急かすわけではありませんし、慎重に吟味すべきところではあるのですが、今くらいの時期に志望校を決められるとかなりメリットが大きいと思います。

私は高2の夏の三者面談で、担任の米岡先生におすすめされてから今の大学を意識し始めたのですが、正直に言うと「ほんとに受けるのか？」という感じで、夏休み中は漫然と課題をこなすくらいの勉強しかしていませんでした。夏休みが明けてからもしばらくぼんやりと過ごしていたので、これではいけないと思い、10月末に大学のオリエンテーションツアーに参加しました。現役の東大生や、東大を本気で目指している高校生と話したことで、ここでしか得られない学びや出会いがあると確信できました。「行けたらいいな」が「行きたい！」に変わったことで、そこからは積極的に、かつ具体的に受験に向けての行動ができるようになりました。

ただ今年は例年とは異なり、オープンキャンパスなどのイベントが中止になってしまったり、オンライン開催になっていたり、**なかなか大学の雰囲気や掴みづらい状況にあると思います。しかし皆さんにはその分食欲に、積極的に大学の情報を集めてほしい**と思います。大学のパンフレットやホームページはもちろん、自分の気になる大学に通っている先輩に話を聞いてみるのも手かもしれません*。その上で、行きたい大学が見つければそこに向かって一直線ですし、ひとつに決まらなかったとしても、選択肢を多くするためにはもっと勉強が必要だと気づいてもらえるはずです。

※少し宣伝になってしまうのですが、私の所属している FairWind というサークルではメールでの質問を受け付けています。大学に関して、直接大学生に聞きたいことなどがあれば、是非活用してみてください。【<http://fairwind-ut.com/request/question-2/> ← FairWind ホームページ内の質問フォームです】（進路指導部補足；東大のサークル「FairWind」は、都内の私立中高一貫校からばかりではなく、地方からも東大生を！地方から東大を目指す高校生を応援したい！というコンセプトで作られたサークルです。群馬県の高校合同で開催する「東大セミナー」には毎年「FairWind」の学生20名近く来てもらい、協力してもらっています。）



2. 目的を明確にした勉強をする

1. とも関連するところですが、2年のこの時期からは「志望校に合格する」という一番の目的をしっかりと意識しながら勉強していくことがさらに重要になります。

これまでは学校の勉強を軸とした学習がメインだったかと思いますが、基礎固めには特に有効なので、これからも続けていってほしいです。しかし皆さんには、受験生に変わっていく今こそ、“普段の勉強+α”で自分の目指す大学にアプローチして欲しいのです。

私自身、高2の夏までは学校の授業の予習復習、小テストや定期テストの勉強など、与えられたことしかやっていませんでした。しかし、秋からはだんだんと受験を意識し始め、志望校が要求する力を身につけることを目的に勉強をするようになりました。

例えば、英語であれば

【現状】精読は得意だが速読ができない、長めの文章に弱い

【出題傾向】解答時間が短く設定されている、800-900語程度の長文が2題

【対策】同程度の語数の長文問題を時間制限を設けて演習する



このように、大学の要求や傾向を分析して、そこに自分を持っていくことを意識して勉強するようになったのはこのくらいの時期だったかなと思います。進路の長岡先生流に言えば「“大学好みの自分”を作っていく」ということです。この考え方に基づいた主体的な勉強は、これから先の受験勉強でも大切になってくるので、是非この時期に実践してみたいです。「他にもないあの大学に受かるためには何が必要か?」、これを常に考えて、現状の自分にないものを補っていくことが受験勉強だと思います。

一方で、苦手教科への向き合い方についてはかなり後悔があります。私は数学が苦手だったのですが、高2の秋冬頃にはI A II Bの内容が終わり、授業は『メジアン』という受験用の問題集に移っていきました。基礎がボロボロの状態だったので当然授業にはついていけず、かといって周りが実践的な問題に挑戦し始める中で基礎固めに徹する勇気もなく、そのままズルズルと入試本番まで中途半端な学習を続けてしまいました。結局最後まで苦手を克服できなかったのは、自分の弱いところに向き合った勉強ができなかったからだ痛感しています。何とか合格することはできましたが、受験科目にものすごく苦手な教科が含まれていると致命傷になりかねません。そこで、皆さんには、本格的な受験勉強が始まる前に苦手を潰しておいてほしいと思います。「完全に克服しろ!」とまでは言いませんが、今後の受験勉強の効果を最大限にするためにも、基礎だけはしっかりと固めておいてほしいと思います。苦手といっても人それぞれなので、具体的な学習方法についてはアドバイスが難しいところではありますが、とにかく授業の予習復習を丁寧にやっても

らえれば良いかと思います。「教わったことは最低限吸収する」、そして「高1~高2夏まで取りこぼしたものがあれば、それをひとつひとつ拾っていく」、これを徹底して行なってほしいです。また、今年は夏休みが短く、やりきれなかったこともあると思うので、この時期から冬休みにかけてはその消化に使って良いと思います。



ここまで長々と書かせていただきましたが、1番大切なのは、「志望校に合格したいという気持ち」と「目的が明確な学習」です。そのためには、積極的な大学調べで自分のモチベーションを高めること、可能であれば志望校を決定することが重要です。また、自分が今している勉強は、合格という目的に照らしたときに本当に適切かということを常に意識してほしいと思います。

コロナ禍でなかなか先が見えない状況の中、不安に思うことも多いかもしれませんが、そこは全国の高校生に共通するところだと思います。こんな時だからこそ、周りのライバルよりひと足先に、自分をワンランク上に持っていくための行動を起こしましょう。皆さん前女生ならできると信じています。頑張ってください!

部活をガチに頑張っていた理系の先輩2人からのアドバイスです。少しずつ、かも知れないけど、「何かを変えなきゃ→実行」に移したことが見えますね。

⑤Eさん(東北大学農学部 1年)

こんにちは。東北大学のAO II期*で農学部合格した矢島です。

私が2年生の秋だったころを思い返すと、「やる気はあるけど体が追い付かない!」っていう状態でした。音楽部に所属していたこともあり、気持ちは勉強したいのに、夜家に帰ると眠くて眠くて仕方ない。午後10時を過ぎた辺りから幾度となく睡魔と葛藤してきました。そんな人に是非伝えたいのは、諦めて寝た方がいいということです(授業中は別ですよ)。体験談からいうと、そんな時に勉強しても何も頭に入りません。おそらく無駄です。ただし、“頭が起きている時間”は全力で集中して頑張ってください。焦るかもしれませんが、通学時間、授業前、授業中、休み時間などに超濃い勉強が出来れば実力はつくと思います。そして、どうしても寝たくなければ「保冷剤」を使うのがお勧めです。



次に勉強についてです。全般に言えるのは、

①2年の秋でも基礎固めに注力する

②定期テストをおろそかにしない

この2つです。①は耳が痛くなるほど聞いていると思うので割愛しますが、②もとても大事です。評定が高ければ、結果的に色々な可能性が見えてくると思います。そして、定期テスト対策をしっかり頑張れば、その範囲の基礎固めが一通り出来ます。絶対頑張るべきです。個人的には定期テスト前に生物や地理をまとめたノートが後々かなり役立ちました。あとは毎日することは時間とやる内容をセットで決めておくと楽だと思います。電車は単語、昼休みは数学とか。



以下は、頭を悩ましがちな“2大教科”についてです。

◎**数学** 私は数学が苦手です。最後まで足を引っ張っていましたが、後になればなるほど、あの時もっと基礎問題をまじめに解いていれば…と思いました。学校で配られた問題集、プリントなどを見返して色んな問題に触れ、パターンを覚えるべきです。特に理系は既習範囲+今習っている範囲は今のうちからガツガツやっていくべきです。絶対二次試験で効いてきます。(対策中にそれを実感しました。)

◎**英語** 自分の中では、割と得意な方でした。そこでやっておいてよかったと思うのは、単語と音読です。単語は覚えてないと和訳できない、読解できない、語彙問題分からない、と負の連鎖が起こります。なので単語集一冊でもいいので何周もして覚えると後々得点につながると思います。私の場合は、当時は学校で配られたEGと、出る順パス単(準一級)を完璧にしていました。また音読は家に帰って勉強をする前にルーティーンとして15分間測ってしていました。長文が読みやすくなるし、英語のリズムが染みついてくるのでお勧めです。



もしかしたら先生に「推薦のことはいいから今は勉強!」と言われているかもしれません。もちろん推薦(学校推薦型選抜)やAO入試(総合型選抜)で落ちたとき大変なので一般に向けた受験勉強を人並み以上にしないといけません。しかし、勉強だけでなく、今のうちから大学や学部の情報、入試情報は綿密に集めてください。例えば東北大学農学部は、何故か英語に重点を置く傾向があり、Ⅱ期で受かった人の多くが英検準一級を持っています。もちろんそれだけで受かるわけではないし、他の大学にこのような傾向があるかは分かりません。しかしやれるだけのことをやっておくという意味では、間に合わなくなることもあるので伝えておきます。

最後に、2年生の秋は受験に専念できるわけでもなく、とても忙しい時期だと思います。それに判定もいまいちだと、正直焦りますよね(自分はCとかばっかりでした笑)。でも判定みたいな過去よりも、「今」を大事にして欲しい。そして頼れる前女の先生方を、是非とも使い倒して欲しいです。コツコツ、そしてオンオフはしっかりつけて頑張ってください。前女卒業生として、陰ながら応援しています。

追伸
まだ進路が決まっていない人へ→東北大学、是非検討してください(笑)。

※東北大学のAO入試は学力を見る入試となっているので、比較的一般入試の勉強に支障が出ずに、AO対策に臨むことができます(進路指導部補足)。

◎Fさん(金沢大学学部 1年)

まず、勉強時間確保のために、寝る時間を1時間遅くしたことです。それまで、午後10時ごろに寝ていたのを11時にしました。比較的、部活優先の生活を送っていて、就寝時刻も早めで、勉強時間が多い方ではありませんでした。さすがに、もう少しやらねばと思い、夜の時間を増やしました。



さらに、学校や図書館を使うようになったのも、2年の後半ごろからです。家に帰るとゆっくりしてしまって、全然勉強できていませんでした。だから、土日の部活後や平日の部活がオフの日、学校に残ったり図書館に寄ったりしていました。

(反省点も含めて)内容としては、受験勉強を始めなければと思いつつ、あまり出来ずに、日々の授業の予習復習をやっていた気がします。

進路部より

いかがでしたか?前女生と言っても、全員が「受験勉強をするのはあたりまえ」と思って、2年生を過ごしているわけではありません。「いかに自分を勉強する態勢、心構えにもっていくか」「部活動との両立で、最低限やるべきことを認識して実行しようとしている」、このように、共通して言える“勝ち法則、考え方”も見えますね。どうせ勝負に行くなら、勝ちたいよね(第1志望に受かりたいよね)。少しでも楽しく学べるとマスト感も軽減され、頑張れるかも!「学ぶこと、できることに」楽しみや喜びを見出すように授業に取り組めるといいと思います。

前女生、Be ambitious!!

注;文中の「センター試験」「センター」は、当時の「大学入試センター試験」を指します。今は「大学入学共通テスト」「共通テスト」と名称が変わっています。

◎9,10月の進路行事

8月29日(月),30日(火)	第2回実力テスト(全学年)
9月3日(土)	全統記述模試【河合塾】(3年全員)
9月9日(金)5,6限	1学年進路講演会
9月9日(金)放課後	大学生との進路懇談会(希望者)
9月10日(土)	駿ベネ共通テスト模試【駿・ベネ】(3年全員)
9月21日(金)放課後	前女OG東大生との進路懇談会(希望者)
10月4日(火)~7日(金)	二学期中間考査
10月8日(土)	駿台全国模試【駿台】(1,2年全員)
	駿ベネ記述模試【駿・ベネ】(3年全員)
10月13日(木)放課後	現役医師による医学科セミナー(希望者)
10月14日(金)	2学年スペシャリスト・ガイダンスⅡ
10月22日(土)	全統記述模試(3年全員)
10月29日(土)	駿ベネ共通テスト模試【駿・ベネ】(3年全員)